

**PACIENTE QUE SENTIA DOR NO PEITO ESQUERDO HÁ 10 ANOS, APÓS TRATAMENTO DE ACUPUNTURA NÃO SENTE MAIS DOR.**

**鍼灸の魔術師**

(44)

**ペンギン・文・育**

正しい治療を受けるために

**十回の手術を受けた鶴雄さん**

鶴雄さんは六十歳、  
のる広告代理店の代表  
有。十年前に左胸にい  
つも痛みを感じ、検査  
を受けた。検査の結果、  
心臓の血管が二か所詰  
まって、四五%しか  
廻っていないかった。  
そこで食事療法を行  
い、適度な運動と薬を  
服用し、百日後には十

五%へ落ちて、痛みも少  
くなった。  
医者はいくら手術は  
必要ないと判断、常時検  
査を受けてコントロール  
するように指示した。

十年経って、ペンギ先  
生の診療所に鶴雄さんが  
来診にやってきたとき  
「今まで二回の心臓手術  
を受け、また新たに悪い  
箇所が見つかり、手術が  
必要だと医者から言われ  
ている」と語った。

鶴雄さんのこれまで三  
年間の症状を紹介すると  
一、糖尿病でグリコー  
ゼが178  
二、高血圧で常時19



ペンギ先生

0代、コレステロールが高  
く、高脂血しよう症。  
三、肝臓の働きが鈍く  
なっていつも肝臓の当た  
りに痛みがあり、口の中  
が苦い。  
四、いつも手足の先、  
顔が冷たい  
五、憂鬱で食欲がなく、  
非常に疲れやすく、忘  
れっぽい。  
六、耳鳴りがいつもが  
て、下痢や胃弱  
七、膀胱がよく働いてい  
ないので、排尿がうまく  
いかず、性欲が低下  
八、毎日五時間しか眠れ  
ず、目覚めが悪く、首や  
腰が痛み、膝に力がない  
以上のような症状が鶴  
雄さんに現われていた。  
今日多くの方たちが快  
適な生活を送るため、い  
い仕事を求めて、健康を  
ないがしろにしていると  
ペンギ先生は痛感してい  
る。

を第一に考えて、自分の  
健康を省みない。  
ペンギ先生はサンパウ  
ロ新聞の購読者の皆さん  
へぜひとも次の注意事項  
を守って欲しいと願っ  
ている。  
一、青年時代から自分  
の健康管理をしっかりと  
行う  
二、毎日適度な運動を  
行い、四十二回で紹介し  
た『日ごろから明るいプ  
ラス思考になるための心  
かけ』を実行しよう  
三、治療を行うときは  
正しい治療を受けるこ  
と。例えば医者が心臓の  
疾患を見つけて、患者に  
心臓のみの治療を続ける  
ならば、鶴雄さんのよう  
に合計十回の手術を受け  
ても、健康を期待するこ  
とはできない。  
これは人間の体は肝  
臓、心臓、脾臓、肺臓、腎  
臓の五臓の働きてつな  
がっており、一つの臓器  
だけを治療してもなかな  
か回復に向かうのが難しい  
からだ。  
東洋医学は体全体を考  
えながら治療をし、西洋  
医学は一つの臓器を重視  
して治療を行っていくと  
いう違いだ。  
鶴雄さんの病状の主な  
原因の一つは胆嚢を手術  
したことだった。なぜな  
ら胆嚢には胃の中の食物  
の分解や調節、消化吸収  
など私たちの体にとって  
とても大切な働きがあ  
り、医者によってはよく  
治療を行わず、すぐに手  
術をしようとする。  
ところが胆嚢を手術す  
ると他の多くの症状や病  
気が発病するのを知って  
いますか。鶴雄さんの場  
合は手術後、胆嚢がなく  
て、どうやって、それぞ  
れの調節やコントロール  
を行うことができるで  
しょう。  
そのため今では鶴雄さ  
んは血栓などの症状をす  
べて薬でコントロールし

ている。高脂血しよう、高  
血圧、コレステロール、足  
の冷えなどの病状が大変  
重たくなってしまったの  
だ。  
もし鶴雄さんが五年前  
に胆嚢を取らなかつたら、  
こんなにも重症にならず、  
もつと回復することがで  
きたのだ。  
人間の体はどれも重要  
な働きを持っていて何一  
つ無駄がない。もし、どこ  
かの臓器を一つでも手術  
をして取ってしまうと、  
人間の持つ自然の治癒力  
が弱まり、分泌、新陳代  
謝、血液や気の流れを阻  
害してしまふ。そのため  
ペンギ先生は読者のみな  
さんが手術をするときは  
十分気をつけて欲しいと  
願っている。

ペンギ先生の診療所は  
聖市パウリスタ区パンブ  
ローナ街九八八番一階。  
診療所(電話)3253・  
6503、3253・66  
59。